

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公表番号】特表2009-514553(P2009-514553A)  
 【公表日】平成21年4月9日(2009.4.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-014  
 【出願番号】特願2008-540298(P2008-540298)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)  
 C 0 7 K 14/47 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)  
 A 6 1 P 7/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A  
 C 0 7 K 14/47  
 A 6 1 K 37/02  
 A 6 1 K 39/395 D  
 A 6 1 K 39/395 N  
 A 6 1 P 7/02  
 A 6 1 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

臓器移植のレシピエントである患者におけるIRIに感受性である臓器または組織を保護するための医薬組成物であって、アネキシン二量体を含む単離修飾アネキシタンパク質を含む、前記医薬組成物。

【請求項2】

アネキシン二量体が10～1000 $\mu$ g/kgの血管内用量となる様式でレシピエントに投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

アネキシン二量体が100～500 $\mu$ g/kgの血管内用量となる様式でレシピエントに投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

移植中にレシピエント患者に投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項5】

アネキシン二量体を含む単離修飾アネキシタンパク質が、配列番号6、配列番号19、配列番号27および配列番号23からなる群より選択されるタンパク質を含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

再灌流傷害および機能不全に対して臓器または組織移植片を保護する方法であって、移

植を必要とする患者における当該臓器または組織の移植の前に、該臓器または組織を灌流または保存のための保存液と接触させ、または該臓器または組織をリンスすることを含み、ここで当該保存液が、虚血後のIRIを防止するのに十分な濃度の、アネキシン二量体を含む単離修飾アネキシンタンパク質を含有する、但し該方法はヒトの体内においては実施されない、前記方法。

【請求項7】

アネキシン二量体を含む単離修飾アネキシンタンパク質に加えて、電解質および細胞保護剤からなる群より選択される少なくとも1つの構成要素を含有する保存液で、臓器または組織を灌流する、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

アネキシン二量体を含む単離修飾アネキシンタンパク質が、0.1から1mg/lの濃度で保存液に添加される、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

アネキシン二量体を含む単離修飾アネキシンタンパク質が、配列番号6、配列番号19、配列番号27および配列番号23からなる群より選択されるタンパク質を含む、請求項6に記載の方法。

【請求項10】

IRIに感受性である臓器または組織を保護する方法であって、ホスファチジルセリンに対するアネキシンVの親和性の少なくとも10%である、ホスファチジルセリンに対する親和性を有するタンパク質の有効量と、該臓器または組織を接触されることを含む、但し該方法はヒトの体内においては実施されない、前記方法。

【請求項11】

タンパク質がモノクローナルまたはポリクローナル抗体である、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

(a) 配列番号17または配列番号21のポリヌクレオチド配列に対して少なくとも95%の同一性を有するポリヌクレオチド配列を含む、単離ポリヌクレオチド；

(b) 配列番号17または配列番号21のポリヌクレオチドを含む、単離ポリヌクレオチド；

(c) 配列番号17または配列番号21のポリヌクレオチドに対して少なくとも95%の同一性を有する、単離ポリヌクレオチド；

(d) 配列番号17または配列番号21の単離ポリヌクレオチド；

(e) 配列番号19または配列番号23のポリペプチド配列に対して少なくとも95%の同一性を有するポリペプチド配列をコードするポリヌクレオチド配列を含む、単離ポリヌクレオチド；

(f) 配列番号19または配列番号23のポリペプチドをコードするポリヌクレオチド配列を含む、単離ポリヌクレオチド；

(g) 配列番号19または配列番号23のポリペプチド配列に対して少なくとも95%の同一性を有するポリペプチド配列をコードするポリヌクレオチド配列を有する、単離ポリヌクレオチド；

(h) 配列番号19または配列番号23のポリペプチドをコードする、単離ポリヌクレオチド；

(i) (a) ~ (h) のポリヌクレオチドのRNA同等物である、ポリヌクレオチド；および

(j) (a) ~ (i) のポリヌクレオチドに相補的なポリヌクレオチド配列、からなる群より選択され、ここで(a) ~ (k) のポリヌクレオチドは、細胞表面上のホスファチジルセリンに結合する能力を有するポリペプチドをコードする、単離ポリヌクレオチド。

【請求項13】

(a) 配列番号19または配列番号23の配列を含む、単離ポリペプチド；

(b) 配列番号 19 または配列番号 23 のポリペプチド配列に対して少なくとも 95% の同一性を有するポリペプチド配列を含む、単離ポリペプチド；

(c) 配列番号 19 または配列番号 23 のポリペプチド配列を有する、単離ポリペプチド；

(d) 配列番号 19 または配列番号 23 のポリペプチド配列に対して少なくとも 95% の同一性を有する、単離ポリペプチド；および

(e) 配列番号 19 または配列番号 23 のポリペプチド配列；

からなる群より選択され、ここで (a) ~ (e) のポリペプチドは細胞表面上のホスファチジルセリンに結合する、単離ポリペプチド。